

令和2年度 当初予算のポイント

行 田 市

1 総 括

令和2年度の当初予算は、多様化する行政需要に対応するため、徹底的なコスト縮減と、事業の選択と集中を図るとともに、「行財政3ヵ年実施計画編成方針」の3つの柱である「住んでみたい」「住んでよかった」「行ってみたい」を推進する重点政策に、財源を優先的に配分しました。

第5次行田市総合振興計画に定める市の将来像である「古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ」の実現を目指し、財政健全化の取り組みを継続しつつ、市民と行政との創意工夫により、活力と希望に満ちたまちを目指していきます。

2 予算規模

一般会計予算

266億2,000万円 (前年度当初比 +2.9%)
(元年度 258億8,000万円)

全会計総計(一般会計、特別会計、公営企業会計)

483億8,188万円 (前年度当初比 +1.3%)
(元年度 477億7,250万円)

<参考> 一般会計当初予算の推移

(単位：千円、%)

年 度	23	24	25	26	27
当初予算額	24,530,000	23,680,000	24,680,000	25,860,000	25,880,000
伸 び 率	1.6	△ 3.5	4.2	4.8	0.1
年 度	28	29	30	元	2
当初予算額	25,850,000	25,210,000	25,310,000	25,880,000	26,620,000
伸 び 率	△ 0.1	△ 2.5	0.4	2.3	2.9

3 歳 入

- (1) 市税収入は、固定資産税において新增築家屋や企業等の設備投資による増収を見込んだことや、法人市民税において企業収益の伸びを見込んだことなどから、前年度比1億7,903万円(+1.7%)の増となっています。

<参考> 市税の推移

(単位：千円、%)

年 度	28	29	30	元	2
当初予算額	10,019,626	10,168,432	10,230,067	10,251,570	10,430,600
伸 び 率	△ 0.0	1.5	0.6	0.2	1.7
構 成 比	38.8	40.3	40.4	39.6	39.2
決 算 額	10,332,171	10,584,401	10,486,131	—	—
伸 び 率	0.2	2.4	△ 0.9	—	—

- (2) 地方交付税は、前年度決算見込みと地方財政計画の内容、合併算定替による影響を考慮した結果、40億4,000万円の計上(前年度比△1億円、△2.4%)となりました。

- (3) 財源不足を補うための基金取崩しについては、財政状況が厳しいことから、財政調整基金から4億5,000万円(前年度同額)、職員退職手当基金から1億円(前年度比△1億円)を計上しました。

このほか、ふるさとづくり基金から2,440万円(前年度比△200万円)、交通遺児入学準備基金から26万3千円、教育振興奨励基金から826万円の取崩しを計上しています。

- (4) 市債は、合併特例債をはじめとした交付税措置のある有利なものを活用することとしています。

市債発行額は、19億950万円(前年度比△5,780万円、△2.9%)を計上し、市債依存度は前年度比△0.4%の7.2%となりました。

市債発行額が減少したのは、臨時財政対策債の減少、JR行田駅前広場周辺再整備事業や教育文化センター耐震改修事業の終了などによるものです。

<参 考> 市債(一般会計)の推移

(単位：千円、%)

年 度	28	29	30	元	2
当初予算額	2,579,000	1,971,500	2,036,700	1,967,300	1,909,500
伸 び 率	△7.4	△23.6	3.3	△ 3.4	△ 2.9
依 存 度	10.0	7.8	8.0	7.6	7.2
年度末現在高	27,290,188	26,624,736	25,854,646	25,049,567	24,343,753
伸 び 率	△1.3	△ 2.4	△ 2.9	△ 3.1	△ 2.8
特例地方債を除いた残高	11,393,970	10,613,072	9,856,293	9,315,791	8,955,614
伸 び 率	△4.8	△ 6.9	△ 7.1	△ 5.5	△ 3.9

※ 令和元年度末、令和2年度末における市債残高については見込み数値

(1) 「行財政3ヵ年実施計画編成方針」重点政策

① 「住んでみたい」

《充実の子育て支援》

○ 放課後児童対策事業	250,935千円
・ 学童保育室運営（18カ所） ☆さくら第二学童保育室新設及び北第二学童保育室移設 他	
○ 地域子育て支援拠点運営事業	28,607千円
・ きっずプラザあおい運営委託料 ・ つどいの広場委託料（5カ所） 他	
○ 子ども医療支給事業	283,031千円
・ 入院・通院ともに18歳に達する日以後最初の3月31日まで医療費を無償化	
○ 多子世帯給食費給付事業	6,500千円
・ 市立小・中学校又は特別支援学校に在籍している児童・生徒を3人以上養育している保護者に対し、3人目以降の児童・生徒の学校給食費を給付	
○ 子育て包括支援センター運営事業	4,815千円
・ 妊娠・出産・産後間もない時期を安心して過ごせるよう切れ目のない支援を実施	
○ 病児・病後児保育事業	16,378千円
・ 保護者の就労等で家庭での看護が困難な小学校3年生までの児童の預かり保育を実施	
○ 保育コンシェルジュ配置事業	3,342千円
・ 保護者の個別ニーズに応じた保育所等の情報提供など、保護者に寄り添う支援を実施	
○ 子どもの居場所づくり事業	840千円
・ 子ども食堂事業、放課後居場所づくり事業	

《質の高い教育》

☆ 学力向上支援事業	41,427千円
・ 学校の実態に応じ学力向上支援教員を配置することで、少人数指導・複数指導の充実、補習学習の実施などにより基礎・基本の定着を図り、確かな学力を身につける。	
○ ホップ・ステップ・ジャンプ外国語教育事業	62,000千円
・ 外国語活動及び外国語授業に外国語指導助手（ALT）を配置し、外国語教育の充実を図る	
○ 中学生海外派遣研修事業	6,820千円
○ 特別支援教育補助員（きらきらサポーター）配置事業	33,045千円
・ 小中学校の特別支援学級等で児童・生徒の学校生活を支援する補助員の配置	
○ 早期療育事業	3,859千円
・ 発達に課題のある幼児・児童を対象に早期療育を実施	
○ いじめ・不登校対策事業	15,036千円
・ いじめ問題対策連絡協議会設置 ・ さわやか相談員配置 ・ 学校ネットパトロール 他	
☆ オリンピック・パラリンピック学校連携事業	697千円
・ 競技観戦を通じ、次世代を担う子供たちに一生の財産として心に残る機会を提供する	
○ 学校再編成事業	4,595千円
・ 再編成準備委員会 ・ 交流事業及び小中一貫教育体験バス借上 他	
○ 小学校屋内運動場非構造部材耐震改修事業	192,000千円
☆ 学校ICT環境整備事業【令和元年度3月補正予算に前倒し】	155,352千円
・ 通信ネットワーク環境整備	

《魅力ある就労環境》

○ 起業家支援事業	14,944千円
・ 市内の空き店舗等を利用して新規に事業を開始する者への助成	
○ 創業者支援事業	1,184千円
・ 事業承継支援事業 他	
○ 企業立地促進事業	192,111千円
・ 施設設置奨励金 他	
○ 若小玉地区産業団地整備事業	1,117千円
・ 地域産業の活性化と雇用の創出を図るため、企業誘致の用地として産業団地を整備	

② 「住んでよかった」

《寄り添う市民福祉》

- 安心生活創造事業 3,851千円
・市民が地域で支え合う「いきいき元気サポート制度」 他
- トータルサポート推進事業 353千円
☆医師による訪問支援事業 他
- 市民活動サポートセンター運営事業 2,297千円
・市民活動サポートセンターを中心に協働のまちづくりを推進
- 高齢者緊急通報システム事業 6,820千円
・緊急通報装置の給付と業務委託等
- 感染症予防事業 204,485千円
☆高齢者予防接種負担軽減（インフルエンザ、肺炎球菌）
・予防接種（☆ロタウイルス、四種混合、日本脳炎、麻疹・風しん 他） 他
- まちづくり元気創出事業 700千円
・自治会がまちづくりの先導的役割を担うための足がかりをつくるための補助
- 市内バスの運行支援事業 126,099千円
・市内循環バス運行経費補助 ・路線バス行田吹上線運行経費補助
- デマンドタクシー事業 24,951千円
・交通弱者（75歳以上の高齢者及び障害者）の移動手段を確保するため、利用料金の一部を助成
- 運転免許証自主返納者支援事業 2,687千円
・運転免許証自主返納者の移動手段を確保するため、タクシー券を交付

《適切なインフラ整備》

- ☆ ごみ処理基本構想策定事業 8,250千円
・今後のごみ処理の方向性を定める計画を策定
- 道路維持・新設改良事業 196,139千円
・市内各所（舗装修繕、道路改良、側溝整備） 他
- 幹線道路整備事業 32,750千円
・主要幹線道路整備
- 常盤通佐間線街路事業 5,500千円
☆県施行街路事業負担金 他
- 橋りょう維持補修・新設改良事業 62,581千円
・行田市駅跨線橋耐震補強設計、泉小学校前歩道橋・四谷橋修繕 他
- 排水路等整備事業 251,025千円
・出水対策事業（西新町、藤原町一丁目 他） 他
- ☆ 緑町排水機場整備事業【令和元年度3月補正予算に前倒し】 13,000千円
・排水ポンプ増設 ・制御盤かさ上げ

《万全な危機管理》

- 緊急防災体制整備事業 5,427千円
・防災情報メール配信委託 ・避難所災害備蓄品の整備 他
- ☆ 災害情報伝達強化事業 1,947千円
・避難情報等電話配信事業 ・FM.クマガヤ送信所増設費補助及び避難所ラジオ配備 他
- ☆ 県地上系防災行政無線施設再整備事業 6,000千円
・県が独自で設置し運用している地上系防災行政無線設備の全面的な再整備を実施
- 消防指令センター共同運用事業 12,586千円
・救急や火災などの災害情報を受信する通信指令業務を行田市と熊谷市で共同運用
- 消防施設整備事業 123,822千円
・消防車両の更新（CD-1型消防ポンプ自動車、高規格救急自動車 他） 他
- 消防団員の処遇改善事業 17,770千円
・消防団員の処遇改善を行い、消防団組織の更なる充実強化を図る
- 第二次救急輪番制病院運営補助事業 8,125千円
・休日及び夜間において入院治療を必要とする重症患者に対する医療機関を確保

③「行ってみたい」

◀稼ぐ観光産業▶

- 行田版DMOを核とした持続可能な地域形成プロジェクト 91,537千円
 - ・ 行田版DMO形成・確立事業
 - ・ 観光コンテンツ開発強化事業
 - ・ 情報発信・プロモーション強化事業
 - ・ DMO事務所等拠点整備
- 「足袋のまち行田」活性化プロジェクト事業 13,000千円
 - ・ 「足袋のまち行田」活性化推進協議会への交付金
- 観光協会補助事業 16,700千円
 - ・ 観光情報館「ぶらっと♪ぎょうだ」運営委託
 - ・ フィルムコミッション事業 他
- 観光案内所運営事業 10,186千円
 - ・ JR行田駅前観光案内所
 - ・ 行田市バスターミナル観光案内所

◀賑わう都市拠点▶

- 行田らしいまち並みづくりと賑わい創出事業 10,214千円
 - ☆まち並み景観形成先導モデル事業
 - ・ チャレンジショップ事業
- ☆ 八幡通りにおける賑わい市開催事業 845千円
 - ・ 八幡通りにおける賑わい市の開催
- ふるさとづくり事業 21,494千円
 - ・ 足袋蔵等歴史的建築物改修・活用事業への補助金
 - ・ 行田らしさを感じさせる建物改修、塀や看板の設置・改修への補助金
 - ・ 観光客向け案内標識、休憩・授乳施設等の整備に対する補助金
- 田んぼアート米づくり体験事業 11,850千円
 - ・ 田んぼアート米づくり体験
 - ☆田んぼアートサミット開催 他
- 産業交流拠点整備事業 146千円
- 水城公園東側園地再整備事業 72,000千円
 - ・ 橋りょう、パーゴラ等整備
- 古代蓮の里施設管理事業 67,941千円
 - ・ 指定管理料

◀攻めの農産業▶

- 新規就農総合支援事業 4,500千円
 - ・ 新規就農者に対し、経営が安定するまでの5年間を補助金により支援
- 攻めの農業支援事業 3,000千円
 - ・ 特産品として期待できる農産物の生産、6次産業化や農園開設などの事業を実施する農業者への補助
- 農業後継者奨学資金給付事業 238千円
 - ・ 農業後継者の育成と人材確保のため、埼玉県農業大学校で修学する者へ奨学資金を支給

(2) その他の主な事業

☆ オリンピック聖火リレー関係経費 ・警備委託料 ・看板等作成委託料 他	7,317千円
○ ふるさと納税促進事業	10,658千円
○ 総合振興計画策定事業 ・第6次総合振興計画（計画期間R3年度～R12年度）を策定	8,929千円
○ 旧勤労会館解体事業	50,000千円
○ 本庁舎空調設備更新事業	160,000千円
☆ 住民票等コンビニ交付事業 ・令和3年1月から運用開始予定（住民票、印鑑証明、税証明、戸籍証明）	6,353千円
☆ 男女共同参画推進センター施設改修事業 ・外壁タイル張替え ・ガラス飛散防止フィルム貼付	22,451千円
☆ 環境課空調設備更新事業	9,000千円
☆ ごみ分別マニュアル作成事業 ・外国語版（英語・中国語・ポルトガル語・スペイン語）の作成	2,339千円
○ 学校施設長寿命化計画策定事業	5,500千円
☆ 産業文化会館空調設備更新事業	100,000千円
☆ 富士見公園庭球場改修事業	41,911千円